

磐田市

おせっかい支援事例集

「企業のお困りごとを解決します！」

INDEX	概要	… 2
01	生産性向上	生産現場改善(5S推進) … 6
02	販路開拓	音階カスタネットの商品開発 … 8
03	WEB マーケティング	無料ホームページの作成 … 9
04	生産性向上	見積・受発注のシステム化 …10
05	事業計画支援	新事業展開への整理 …11

磐田市おせっかい事業とは

磐田市では企業の皆さんを市職員が訪問し、課題やニーズを伺い、支援機関の専門家と徹底的におせっかいをすることで、お悩みごとの解決に向けたお手伝いをしています。



おせっかいの流れ

1 磐田市へ解決したい課題や相談内容を問い合わせ

2 訪問や電話にて詳細をヒアリングし、専門家へおつなぎ

3 専門家によるアドバイス等サポート

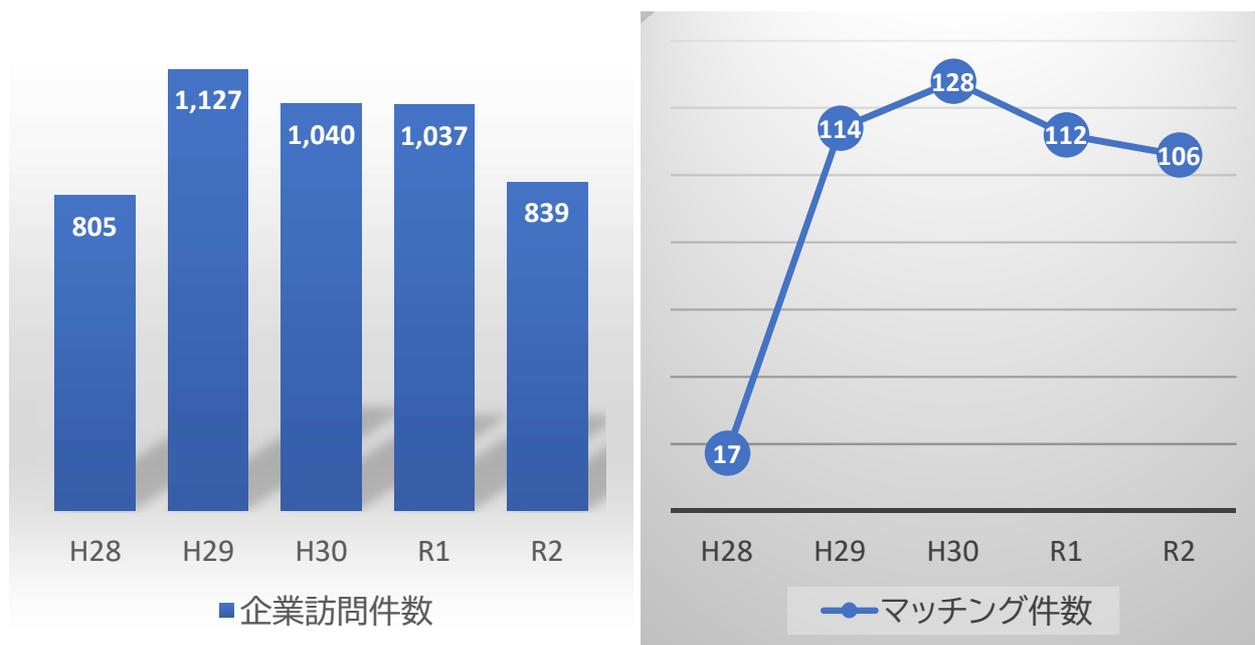
補助金のご案内

情報提供による
広報支援

市内、市外企業
との
マッチング支援

訪問・事例件数の推移

平成28年度から始め、企業訪問は年間約1,000件、マッチング件数は年間約100件、成立件数は累計約230件となっています。



支援機関の紹介

磐田市とともに企業の皆さんをサポートする支援機関「静岡県よろず支援拠点」について説明します。

静岡県よろず支援拠点とは



- 中小企業庁が全国に設置した中小企業・小規模事業者向けの無料の経営相談所です。
- 本部は静岡市にあり、磐田商工会議所にサテライトオフィスがあります。
- 2021年7月現在、5人の専門家が市内企業のさまざまな経営課題の解決のため活動をしています。

専門家への相談について Q&A

Q	A
相談は1度限りですか？ 継続して相談したい場合は？	何回でもご利用いただけます。さらに詳細に相談したい場合は専門家派遣や中小企業119（3回まで無料）を活用する方法もあります【有料】
1回あたりの相談時間は？	1時間です。
相談場所は？WEB相談も可能か？	サテライトオフィスまたは訪問して相談を実施します。WEB相談も対応できます。
費用は発生するのか？	無料です。
ちゃんとした人が相談に乗ってくれるのか？	各支援分野について精通しているエキスパートが対応します。

専門家紹介



国内外のビジネス
マッチングなど新事
業の具体化もお任せ
ください。

山堀 圭太郎 ● 販路開拓
● ブランディング
● 営業戦略
Yamahori Keitaro



企業のブランディ
ングを踏まえたWEB活
用の点から販促の手
法についてサポート
します。

吉岡 大介 ● WEBを活用し
た販売促進・広
告
Yoshioka Daisuke



ITやIoT、AI、ロボッ
ト導入を通じて人手
不足解消や生産性向
上を支援します。

長谷川 徹 ● IT活用
● 現場改善
● 生産性向上
Hasegawa Toru



生産現場の問題解決
や労働問題のサポー
トやISOの有効活用
について支援します。

鈴木 宣二 ● 経営力強化
● 現場改善
● 個別労働相談
Suzuki Senji



経営改善や事業計画
策定支援により、成
長を目指す中小・小
規模事業者をお手伝
いします。

荒井 豊 ● 経営改善
● 事業計画策定
● 創業支援
Arai Yutaka

事例 01



生産性向上

生産現場改善(5S推進)

株式会社アコー(磐田工場)

製造業(工場の集塵機等)

資本金(従業員) 5,000万円(105名)

代表取締役社長 河野 克己

静岡県磐田市東平松500-1

☎0538-59-2511

<https://www.acokk.co.jp/company/>

◆相談した専門家:長谷川 徹、鈴木 宣二



5Sとは

製造業・サービス業などの職場環境の維持改善で用いられるスローガンである。

整理・整頓・清掃・清潔・躰。

支援の全体像

相談のきっかけ

生産工程の一部を自動化したいが、どの部分を自動化すべきか悩んでいる。

現状分析・課題設定

生産工程作業フローの効率化が必要。また自動化に適している工程が不明確。

提案・実行支援

5S推進(工場診断+社内勉強会)、自動化に向けたアドバイス、ロボット活用、市内企業の紹介。

支援成果・今後の展望

5S徹底による生産性向上。ロボット活用による人材育成、品質向上、業務の標準化を実現。



社員向けセミナーの様子

相談のきっかけ

生産性が思うように上がらないことに苦慮

生産工程の自動化や、購入したが使いこなせずにいるロボットの活用などが社内の生産性向上の課題として挙げられた。どこから取り組むべきかわからず、よろず支援拠点の専門家へ相談。

現状分析・課題設定

自動化やロボット導入の前に職場環境の改善が必要

生産現場を見学し、機械装置の複雑なレイアウトや社員が使う工具や部品が散乱していることを指摘。自動化やロボット導入をする前に、まずは工場内の整理整頓を行うことを、生産性向上に向けた課題として挙げた。

提案・実行支援

5Sを提案、継続的なフォローによりさらなる改善に

工場診断や社内勉強会により、「5S」の徹底を行った。取り組みをフォローするために、継続して工場見学し、改善点を把握しながらさらなるアドバイスを実施した。専門家よりロボットの再稼働に向けたアドバイスや、すでにロボットを導入している市内企業の紹介により、部品の溶接工程を自動化した。

支援成果・今後の展望

生産性の向上、人手不足を解消する自動化

5Sを徹底したことにより工場内が整理され「ムダ」がなくなり、生産性向上に繋がった。またロボットを活用することで人手不足や業務の標準化、品質向上に繋がった。今後新工場の建設に向けて、生産工程の効率化を検討していく。



支援のポイント

幅広い分野でのアドバイス

生産工程における自動化の相談に対して、5S推進活動、ロボット活用、市内企業とのマッチング等幅広いニーズを把握でき、支援することができた。

相談者の声

従業員の意識改革のきっかけ

問題意識はあったが、具体的な解決策や優先順位について整理できずにいた部分を支援いただいた。専門家からの助言をきっかけに従業員の意識が1つの方向に向かったことが最大の成果である。



音階カスタネットの商品開発

株式会社スズハル

製造業(ピアノ等の木材部品)

資本金(従業員) 2,900万円(50名)

代表取締役社長 鈴木 一久 静岡県磐田市東平松926

☎ 0538-66-6830 <https://www.suzuharu.co.jp/>

◆相談した専門家:山堀 圭太郎、吉岡 大介

相談のきっかけ

自社商品を新たに開発したい

幼児教育向けに知育玩具の商品開発をしたいという思いがスタートのきっかけ。市外の楽器店とのマッチングや社長の「カスタネットに音階があったら面白い」というアイデアから、開発に取り組むこととなった。

現状分析・課題設定

ターゲットやコンセプト、価格の設定

「音階カスタネット」の開発に向けて、ターゲット、コンセプト、価格、デザイン、商品名等決めていかなければならない。楽器店との共同開発で、細かな音階の調整が必要。

提案・実行支援

グッドデザインしずおかへの申請に向けて

本商品のデザイン性と企画のストーリー性に注目し、県主催の優れた製品を表彰する「グッドデザインしずおか」への応募を目標として、商品開発を進めていくことを提案。受賞特典である商品PRや展示会出展により販路開拓につなげる。

支援成果・今後の展望

メディアで取り上げられる話題の商品に

グッドデザインしずおか金賞受賞により、新聞やテレビなどに取り上げられることで、商品の周知につながった。今後は、WEB販売の体制構築のため、別の専門家により引き続き支援を実施している。



支援のポイント

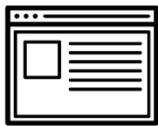
商品開発の1つのゴール

グッドデザインしずおかへの申請を1つのゴールとすることで取り掛かる目安になった。試作に対するアドバイスもできた。

相談者の声

相談がなければ実現しなかった

BtoBからBtoC向けの商品を開発するにあたり、自社の分析やターゲット設定等のアドバイスにより、今までにない「気づき」を得ることができた。自社だけでの取り組みでは、ここまでに至らなかったと思う。



無料ホームページの作成

株式会社市川板金工業所

製造業(試作板金加工)

資本金(従業員) 1,000万円(37名)

代表取締役 市川健一 静岡県磐田市富里224-15

☎0538-38-3456 <http://www.ichikawa-bk.jp/>

◆相談した専門家: 吉岡 大介

相談のきっかけ

全国に向けて自社商品の販売をしたい

自社の金属加工技術を活かしてPCR検査BOXを開発。全国の医療機関、自治体等をターゲットに販売するためネットで注文を受けたい。

現状分析・課題設定

メディアで取り上げられるが、注文の受け皿がない

ターゲットを全国としているため、ネットを活用して問い合わせや注文の受け皿を用意したい。メディアにも取り上げられる予定だが、既存の会社HPは業者へ制作依頼しているため、費用や時間的に編集することが不可能。

提案・実行支援

無料でHPを作成できるツールを紹介

無料でHPを作成できるツールを紹介。すぐにテンプレートを活用し、HPを作成。その後出来上がったHPを活用されやすいフォームになるよう文字の大きさ、位置、写真の配置をアドバイス。

支援成果・今後の展望

メディア露出後、HPからの問い合わせ多数

メディア露出後、HPへの問い合わせが多数あり、HPの作成についてタイミングを含め、スピード感のある支援ができた。本業がコロナ禍で落ち込むなか、新たな売上の柱の創出として取り組むことができた。



支援のポイント

無料で簡単にできるツールを紹介

スピード感のある対応がカギであった。作成したHPのブラッシュアップもできたことで企業ニーズに合った支援ができた。

相談者の声

検索エンジンの仕組みから学べた

検索されるための配置や文字の構成まで教えてもらったことで、検索上位にあがる効果があった。継続相談ができたこともよかった。

事例 04



生産性向上

見積・受発注のシステム化

株式会社オキソ

製造業(金属加工)

資本金(従業員) 1,000万円(54名)

代表取締役 大石容紫子 静岡県磐田市下岡田110-1

☎0538-34-6056 <http://www.oxiso.co.jp/>

◆相談した専門家:長谷川 徹

相談のきっかけ

生産工程の自動化、ロボット導入の検討

業務の効率化を図り生産性を向上させる目的で、生産工程の一部で自動化やロボットの導入を検討したい。自動化すべき工程などについて、専門家にアドバイスを聞きたい。

現状分析・課題設定

専門家のヒアリングにより生産性を下げる要因が判明

専門家との相談の中で、生産だけでなく、営業から見積、図面の作成、出荷までの工程を整理したところ、各担当者ごとに見積作成方法が異なることや、手書きの生産管理表、顧客管理がされていないことが課題として挙がった。

提案・実行支援

見積作成・顧客管理に関するシステム化を提案

専門家より、まずは営業・見積作成の生産性を上げることにより、会社の売上と生産性を向上させることができることをアドバイス。顧客管理・受発注管理におけるシステム化を最優先事項とした。

支援成果・今後の展望

システム化に向けた業務整理による売上増に向けて

自社で活用している既存システムを活かして、受発注におけるシステム化を決定。システム化に向けた情報整理についてアドバイスを受け、売上増に向けて継続相談中である。



支援のポイント

受発注におけるシステム化による生産性向上

生産工程の自動化だけが生産性向上に繋がるわけではない。幅広い視野と経験から効率化する最適な部分をアドバイスできた。

相談者の声

充実した専門的なアドバイスが無料

自社を第三者の視点でロジカルにアドバイス頂き、非常にレベルが高かった。社員が楽になる最善の提案をいただいた。



新事業展開への事業計画

竹原産業磐田有限会社

卸売業(農業機械)

資本金(従業員) 500万円(3名)

代表取締役 竹原 和弘 静岡県磐田市国府台25-21

☎0538-35-4745

◆相談した専門家:山堀 圭太郎、荒井 豊

相談のきっかけ

息子の入社、新たな取組みをしたい

古くから付き合いのある農家をターゲットに農機具の販売・修理を行っていた。息子の入社を機に売上向上を目的とした取組みについて相談をしたい。

現状分析・課題設定

ターゲットとなる農家の減少、農機具販売の見直し

ターゲットとなる農家の減少や高齢化により、農機具販売の売上は減少している。新たな取引先の掘り起こし等の取組みも行っていないことが課題として挙げた。

提案・実行支援

就農支援相談所の運営、農機具レンタル事業

近年コロナの影響で首都圏からの移住・定住や、若者の就農率が増加している。規模は様々だが、農業を始める際のノウハウや機具の初期投資などの課題に着目し、相談所の運営を提案。農家とのマッチング、機具のレンタルについて事業展開していく。

支援成果・今後の展望

SWOT分析、事業計画策定、農林水産課との連携

新たに事業を展開していくにあたり、自社の見直しや事業計画策定をするため専門家へ相談。また市の農林水産課とも情報交換を行い、就農支援相談所としてHPを開設した。今後相談案件を生み出すための取組みを行っていく。



支援のポイント

複数の専門家、市担当との
ワンストップ支援

新たな取組みに関するアドバイスに止まらず、事業を開始するにあたり必要な計画策定支援や顧客管理のシステム化に関する相談等複数の専門家へ繋げた。また市の担当部署ともワンストップでスムーズに繋がることができ、連携できる先が増えたことは強みとなった。

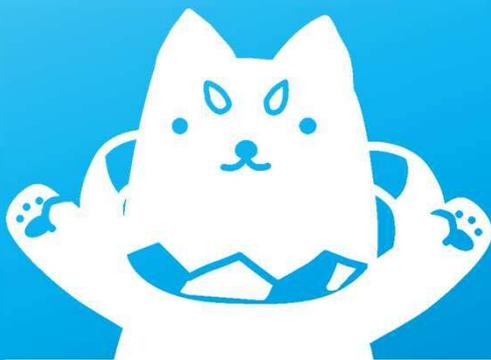
相談者の声

第三者の意見を新しい事業に

外部の人に話を聞く良い機会となり、自社について見直すことができた。



磐田市



《お問い合わせはこちら》

磐田市 産業部 産業政策課

〒438-8650 磐田市国府台3番地1

TEL:0538-37-4904

FAX:0538-37-5013

E-mail : sangyo@city.iwata.lg.jp

令和3年8月発行